

渋谷区立松濤中学校の授業時数特例校の取組

授業時数特例制度を活用して



区立全小・中学校で、国語や算数・数学など、各教科の授業時数の一部（1割）を総合的な学習の時間に上乗せすることで、探究の核となる総合的な学習の時間の充実を図ります。

学習指導要領に定められた各教科で学ぶ内容は変わりません（減りません）。

松濤中学校の取組

1. 探究基礎（全学年）：「課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現」のプロセスで進めていく探究の方法を学ぶ。

例：「各上級学校はどんな職業・進路を目指す人に向いているのか」（2学年）
 個人で仮説を立て情報収集 → プレゼンテーションソフトに整理し発表
 → ゲストティーチャーとして高校の先生の講演を聞き質疑応答

2. テーマ探究

1 学年：SDGs

シブヤと社会のつながり～自己の生き方を考える職業体験～
 TOKYO探究～東京はなぜ国際都市なのか？～

2 学年：English Camp～シブヤと日本の民話を海外の人に伝えよう～

鎌倉探究～鎌倉にはなぜ国内外問わず多くの観光客が集まるのか～

長崎探究～修学旅行ガイドブックを作ろう、なぜ長崎を訪れるのか～

3 学年：京都・奈良探究～なぜ修学旅行先によく選ばれるのか～

自己実現に向けた探究

3. My探究：自ら追究したい課題を設定し、基礎で学んだ方法で探究する。（全学年・後期）

渋谷区の「探究」

先生が教える授業から、子どもが学びを創る授業へ！
 シブヤ未来科で『探究』の時間が充実します！

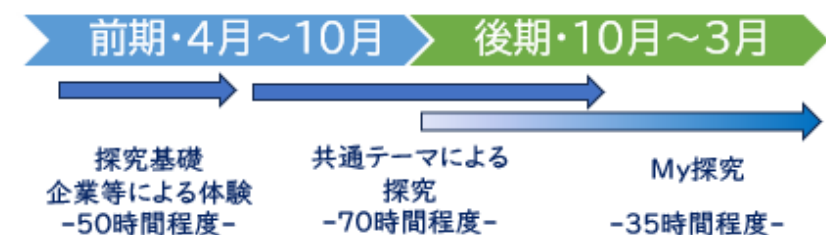
学校の1日の流れの例（令和6年度）

中学校は、時間講師の関係で、午後の探究時間に変更もあります。

月～金	
午前 1～4校時	教科を中心とした授業 国語、社会、算数・数学、理科など
午後 5～6校時	探究 主として「シブヤ未来科」の時間 ～子ども主体の学び～ 総合的な学習の時間、道徳、特別活動等

探究の1年の流れの例（令和6年度）

例：小学校6年生 総合的な学習の時間の年間授業時数155時間



総合的な学習の時間 授業時数

	標準時数	上乗せ時数	授業時数
小学校	3年	70	79
	4年	70	82
	5年	70	86
	6年	70	85
中学校	1年	50	80
	2年	70	72
	3年	70	76